NO.
006

社会 日本の少子高齢化

A Society with Fewer Children and More Elders

子どもが減り、高齢者が増える社会

英文の音声

レベル ★★★ 難関 | 290語 | 熟語13個 | 目標3分 | 読んだ日 | かかった時間 分 秒

1 Japan is often ❶**described as** the world's first super-aged society. ❷**As a matter of fact**, people aged 65 or older now make up ❸**no less than** 29 percent of the population, while the number of babies born each year keeps falling. The country's population, which peaked around 2008, is now shrinking year after year.

2 These changes are felt most strongly in the countryside. For decades, young people have ❹**left their villages for** big cities in search of jobs and excitement, and few of them ❺**come back**. In some areas, schools have closed because there are no children, and the elderly residents who remain must ❻**take care of** one another. Local volunteers who ❼**drop in on** people living alone have become an important way of making sure that they are safe.

3 Japan's success in extending life is often said to ❽**be second to none**, yet this success brings new problems. Hospitals and care homes ❾**are running short of** workers, and the cost of pensions and medical care keeps rising. Fewer working people must support more retired people, and some worry that financial pressure may ❿**force young couples into delaying** marriage and children even further.

4 Accepting more immigrants is one possible answer, but it remains ⓫**a hot potato** in Japanese politics. Some argue that more foreign workers are needed; others worry about the effects on society. Meanwhile, many young people say they ⓬**long for** a family but feel they cannot afford one, or cannot combine raising children with long working hours.

5 One thing is clear: the age of steady population growth ⓭**is over**. The question is no longer how to return to the past, but how to build a society in which people of all ages can live well with fewer members.

語注 **super-aged society** 超高齢社会（65歳以上が21%を超える社会） **peak** 頂点に達する **resident** 住民 **pension** 年金 **immigrant** 移民

この英文の熟語 IDIOMS 13個｜番号は英文の中の番号と同じ。覚えたら □ に印

1 describe A as B Aを Bだと言う □□□

as は「～として」。受け身 A is described as B（A は B だと言われる・評される）の形が多い。regard A as B / see A as B と同じ「A as B」の型。 例 *The critics described the film as a masterpiece.* 批評家たちはその映画を傑作だと評した。

2 as a matter of fact 実は □□□

＝ in fact / actually。前の内容を「実際に」と強めて補足するときと、相手の予想に反して「実は」と打ち明けるときの 2 つの使い方がある。本文は前者。 例 *As a matter of fact, I have never been abroad.* 実は、私は一度も海外に行ったことがない。

3 no less than ~ ～も（の多さ） □□□

＝ as many as / as much as。数の多さを強調する。no more than ~（たった～＝only）と正反対なので混同注意。not less than ~ は「少なくとも」（＝ at least）。 例 *No less than 5,000 people attended the concert.* 5000 人もの人がそのコンサートに来た。

4 leave A for B A を出て B へ向かう □□□

for は「方向・目的地」。leave Tokyo for Osaka（東京を出て大阪へ向かう）。leave A だけなら「A を去る」、leave for B だけなら「B へ出発する」。 例 *He left Japan for London last week.* 彼は先週日本を発ってロンドンへ向かった。

5 come back 戻る □□□

＝ return / get back。come back to ~（～に戻る）。流行や記憶が「戻ってくる・よみがえる」の意味にもなる（The style is coming back.）。 例 *Please come back before dark.* 暗くなる前に戻ってきてね。

6 take care of ~ ～の世話をする □□□

＝ look after ~ / care for ~。「～を処理する・引き受ける」（I'll take care of it.）の意味もある。take good care of ~ のように形容詞が入る。 例 *She takes care of her grandmother every weekend.* 彼女は毎週末、祖母の世話をしている。

7 drop in on ~ （人）のところにちょっと立ち寄る □□□

on の後ろは「人」、場所なら drop in at ~。＝ call on（人を訪ねる）、call at（場所を訪ねる）と同じ使い分け。予告なしに気軽に寄る感じ。 例 *I'll drop in on my uncle on the way home.* 帰り道におじのところに立ち寄るよ。

8 be second to none 誰にも劣らない □□□

直訳「どれにも次ぐ（2 番目である）ことはない」＝「一番だ」。＝ the best。in ~ を付けて分野を示す（second to none in speed）。 例 *This restaurant's service is second to none.* このレストランのサービスはどこにも負けない。

9 run short (of ~) （～が）不足する □□□

＝ run out of ~ に近いが、short は「足りなくなりかけている」、run out は「完全に尽きる」。be short of ~ は「～が不足している」状態。 例 *We are running short of time.* 時間がなくなってきている。

10 force A into ~ing A に無理やり～させる □□□

＝ force A to do。into は「ある状態へ追い込む」。talk A into ～ing（A を説得して～させる）、trick A into ～ing と同じ形。 例 *The storm forced us into canceling the trip.* 嵐のせいで私たちは旅行を中止せざるをえなかった。

11 a hot potato 扱いにくい問題 □□□

熱いジャガイモは持っていられず誰もが手放したがることから、意見が分かれて誰も触れたくない問題。政治・社会問題の文脈で使う。 例 *Raising taxes is a political hot potato.* 増税は政治的に扱いにくい問題だ。

12 long for ~ ～を切望する □□□

long は動詞で「切に願う」。＝ yearn for / be eager for。long to do（～することを切望する）の形も。形容詞の long と混同しない。 例 *The prisoners longed for freedom.* 囚人たちは自由を切望した。

13 be over 終わっている □□□

over は形容詞で「終わって」（＝ finished / ended）。The game is over. の形。The days of ~ are over.（～の時代は終わった）は論説文の決まり文句。 例 *The rainy season is over at last.* ようやく梅雨が明けた。

内容一致問題 QUESTIONS

英文を読んで、それぞれの問いに対して最も適切なものを 1〜4 から 1 つ選びなさい。

問1 第 2 段落の内容と一致するものはどれか。

1. 一部の地域では、残った高齢者が互いに世話をし合っている
2. 多くの若者が仕事を求めて地方に移り住んでいる
3. 地方では子どもが増えて学校が足りなくなっている
4. 一人暮らしの高齢者を訪ねるボランティアはいなくなった

問2 第 3 段落で述べられている問題として正しくないものはどれか。

1. 病院や介護施設で働き手が不足している
2. 年金と医療の費用が上がり続けている
3. 日本の平均寿命が急激に短くなっている
4. 経済的な重圧が若い夫婦の結婚や出産を遅らせるかもしれない

問3 筆者の結論として最も適切なものはどれか。

1. 移民を受け入れれば、すべての問題はすぐに解決する
2. 何としても人口が増えていた過去の社会に戻るべきだ
3. 若者は都市を離れて村に戻るべきだ
4. 人口が少なくても、あらゆる年齢の人がよく暮らせる社会を作るべきだ

熟語チェック CHECK 意味に合う英語の熟語を書こう（答えは「熟語」のページ）

1 A を B だと言う

2 実は

3 〜も（の多さ）

4 A を出て B へ向かう

5 戻る

6 〜の世話をする

7 （人）のところにちょっと立ち寄る

8 誰にも劣らない

9 （〜が）不足する

10 A に無理やり〜させる

11 扱いにくい問題

12 〜を切望する

13 終わっている

背景知識 65 歳以上の割合が 7% を超えると「高齢化社会」、14% で「高齢社会」、21% で「超高齢社会」と呼ばれる。日本は 2007 年ごろに 21% を超え、現在は約 3 割に達している。人口は 2008 年ごろをピークに減少に転じた。人口を維持するには合計特殊出生率がおよそ 2.1 必要とされるが、日本はそれを大きく下回っている。入試では、地方の過疎化、介護の人手不足、社会保障の負担、移民受け入れの是非がよく論じられる。

全訳 TRANSLATION 色の太字は熟語の部分

1 日本はよく、世界初の超高齢社会**だと言われる**。**実際**、65 歳以上の人々は今や人口の 29 パーセント**も**を占め、一方で毎年生まれる赤ちゃんの数は減り続けている。2008 年ごろに頂点に達したこの国の人口は、今では年々減っている。

2 こうした変化を最も強く感じるのは地方だ。何十年もの間、若者は仕事と刺激を求めて**村を出て**大都市**へ向かい**、**戻ってくる**人はほとんどいない。一部の地域では子どもがいないために学校が閉校し、残った高齢の住民たちが互いに**面倒を見**なければならない。一人暮らしの人の**ところにちょっと立ち寄る**地元のボランティアは、その人たちの無事を確かめる大切な手段になっている。

3 寿命を延ばすことにかけての日本の成功は**誰にも負けない**とよく言われるが、この成功は新たな問題をもたらしている。病院や介護施設では働き手が**不足しつつあり**、年金と医療の費用は上がり続けている。より少ない現役世代が、より多くの退職者を支えなければならない。経済的な重圧のせいで、若い夫婦が結婚や出産を**さらに先延ばしせざるをえなくなる**のではないかと心配する人もいる。

4 移民をもっと受け入れることは一つの答えになりうるが、日本の政治では今も**扱いにくい問題**のままだ。外国人労働者がもっと必要だと主張する人もいれば、社会への影響を心配する人もいる。その一方で、多くの若者は、家庭を持つことを**強く望んで**いるのに、その経済的な余裕がない、あるいは長時間労働と子育てを両立できないと感じていると言う。

5 一つ明らかなことがある。人口が着実に増える時代は**終わった**のだ。問題はもはや、どうやって過去に戻るかではなく、より少ない人数で、あらゆる年齢の人々がよく暮らせる社会をどう作るかなのである。

要旨 日本は高齢者が約 3 割を占め、人口が減り続けている。地方の過疎、人手不足、社会保障費の増加などの課題がある中、人口増加の時代は終わったと認め、少ない人数で皆がよく暮らせる社会を作ることが問われている。

解答・解説 ANSWERS

問1 1 **問2 3** **問3 4**

問1 正解 1 根拠は第 2 段落 the elderly residents who remain must take care of one another。残った高齢の住民が互いに世話をし合う、とあるので 1 が正解。2 は young people have left their villages for big cities と逆で、若者は都市へ出ていく。3 は schools have closed because there are no children と逆。4 は Local volunteers who drop in on people living alone have become an important way ～ とあり、ボランティアは重要な役割を果たしている。

問2 正解 3 正しくないものを選ぶ問題。第 3 段落冒頭 Japan's success in extending life is often said to be second to none とあり、寿命を延ばすことに成功しているので、「寿命が急激に短くなっている」とする 3 が誤りで正解。1 は are running short of workers、2 は the cost of pensions and medical care keeps rising、4 は financial pressure may force young couples into delaying marriage and children とそれぞれ一致する。

問3 正解 4 根拠は第 5 段落 The question is no longer how to return to the past, but how to build a society in which people of all ages can live well with fewer members。no longer A but B で「過去に戻ることではなく、少ない人数で皆がよく暮らせる社会を作ること」が問題だと述べており 4 が正解。2 はこの A の部分で否定されている。1 は移民を a hot potato（扱いにくい問題）と紹介しているだけで、解決策だとは断言していない。3 は書かれていない。